



# 消防大学校だより

## ■ 新任教官科 (第8期)

消防大学校では、専科教育において、消防学校教育訓練担当職員を対象とした研修課程で、業務に関する必要な知識及び能力を専門的に修得させ、新任の消防学校教官としての資質を向上させることを目的に「新任教官科」を設置しています。

平成26年度新任教官科においては、学生94名（平成27年3月5日～17日）が、消防大学校での約2週間の全寮制の集合教育を終え、卒業しました。

新任教官科では、講義技術に関すること（教育技法、教育心理学、説得技法等）、学校の運営管理に関すること（メンタルヘルス、体育理論、身体管理、安全管理等）を主眼として教育訓練を実施しています。

講義内容は、最新の消防行政の動向に加え、「消防学校教育訓練の見直し」に関する講義、効果・効率的な教育訓練の方法及び講義の組み立てに関する講義のほか、社会情勢の変化に伴った新しい課題に対応するための科目として、東京消防庁消防学校の講師による「パワーハラスメント等を理解した教育指導」、弁護士の講師による「パワーハラスメントに関する訴訟事例」の講義、教

官としての説得技術の向上を目的とした「説得技法」等、消防学校の教官として必要な知識の習得に努めました。

課題研究では、消防学校の教官として不安に感じている点や、既に学校教官として抱える問題をテーマにグループ討議を行い、問題解決への糸口を探りました。

今回の研修を受講して、学生からは入校当初の目標を達成することができ、大変有意義であったとの意見が多く寄せられたほか、同じ立場、目標を持った仲間が全国から集い、入校期間中は様々な意見を交わすことができたことは大変貴重であったとの感想も多くみられました。

消防を取り巻く社会環境は複雑多様化する一方、熟練職員の大量退職、市町村消防の広域化等、様々な課題を抱える中、こうした状況に的確に対応していくための人材育成は、従来にも増して重要なものとなっています。

今後は、消防大学校で習得した知識・技術や課題研究での取組みを業務に活かして、全国の消防学校において優秀な消防職員の育成のため、活躍することが期待されます。



東京消防庁消防学校 水越補佐による講義



校長点検の様子



## NBCコース (第4回)

消防大学校では、NBC災害対応資機材を装備する隊の隊長若しくは隊員である者又はそれらの予定者、消防学校におけるNBC災害に関する課程の担当者を対象とした研修課程で、その業務に必要な知識及び能力を修得となる高度な知識及び能力を習得させることを目的に「NBCコース」を実施しています。

平成26年度NBCコースにおいては、全国より集まった65名（平成27年3月4日から3月17日）が、消防大学校での約2週間の全寮制の集合教育を終え、修了しました。

講義内容は、最新の救助行政の動向に加え、「消防・救助技術の高度化等検討会報告書（平成26年3月）」によるNBC災害のマニュアルの見直しに関する講義のほか、NBC災害時における初動対応・安全管理・医療対策、特殊災害発生時の関係機関の相互広域体制、惨事ストレス対策等、必要な知識の習得に努めました。

実科訓練では、NBC資機材の取り扱いとして、擬材を使用して実際に測定を行う内容の訓練に取り入れ、活動技術の向上を図り、東京消防庁第三消防方面本部におけるBC災害対応訓練（校外研修）、横浜市消防局によるC災害対応訓練、横須賀市消防局によるN災害対応訓練と、各種災害の活動要領について御教授いただき、総合訓練として、ブラインド型訓練を実施し、初動対応及び現場管理の対応能力の向上に努めました。

今後は、消防大学校で修得した高度な知識と磨きをかけた判断力に加え、全国の仲間から得た情報を活かし、全国各地域で安心と安全の確保・維持のため活躍することが期待されます。



東京消防庁第三方面本部におけるBC災害対応訓練



横浜市消防局によるC災害対応訓練



横須賀市消防局によるN災害対応訓練



総合訓練の様子

### 問い合わせ先

消防大学校教務部  
TEL: 0422-46-1712